



宮城学習センターでは、学生同士の交流や直接教員から指導を受けられる貴重な学び場として、演習形式の課外授業ゼミを開講しています。

受講希望の方は、右 QR コード（Google フォーム）よりお申込みください（先着順受付）。

宮城学習センターウェブサイトにも Google フォームを掲載します。1 つのフォームから複数のゼミを申し込むことができます。定員になり次第締め切ります。



お申込み時に以下①～④をお知らせください。

①ご希望のゼミ名 ②お名前 ③学生番号 ④メールアドレス

※④は休講や日程変更の連絡の際に使用しますので、普段ご利用のメールアドレスをお知らせください。

受付期間 10月18日(金)9:30～10月26日(土)17:30



前学期から引き続き受講を希望される方もお申込みが必要です。

地域で自分らしく「生き切る」とは ～他者の生き方から学ぶ

加藤 由美 先生

日時：第2・4木曜日
14:00～15:30

初回：11月14日(木)
定員：15名

地域包括ケアシステムとは「重度の要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される」仕組みです。ゼミでは、この定義にある「自分らしく暮らす」という点に着目し、地域で自分らしく生きる（≡生き切る）ことを各自が自分事として考え、検討します。たたき台には「死を生きた人びと 訪問診療医と355人の患者」（小堀鷗一郎）を用います。新規の方は本の途中から入る形となりますが、それでも問題なく理解できる平易な内容です。このテーマに興味関心のある方の参加をお待ちしています。

消費者行動と広告をめぐる心理学

中嶋 みどり 先生

初回：11月12日(火)
時間：14:00～15:30
定員：10名

【実施予定日】

11月：12日
12月：17日
1月：14日
2月：4日
3月：11日

（3月は変更の可能性有）

私たちは日常的に多様な広告を見たり、買い物をし、様々な形で消費をしている。商品を作る側は、商品名や商品そのものの工夫、パッケージの見映え、キャッチコピー、CM、価格設定、サービスなど、多様な工夫を加えている。この課外ゼミでは、そういった多様な消費者心理学に関連する基礎を学ぶゼミである。

ゼミとしては、以下の文献の各章を事前に読んで参加し、全員が自身の考えや経験を述べ合い、お互いが学び合う形をとる。理解をわかりやすくする補助資料（ネット検索も可）や関連のYouTube動画などは、歓迎である。

【学生が用意するもの】

越智啓太（2024）『買い物の科学 消費者行動と広告をめぐる心理学』
実務教育出版、ISBN：978-4-7889-1493-3

紙での資料を用意する場合は、事務室でお願いしてください。

西洋美術への招待

尾崎 彰宏 先生

日時：第2火曜日
12:30～14:00

初回：11月12日(火)
定員：15名

このゼミでは、前期に続き、拙著『風俗画のスペクタクル』に基づきオランダ美術を中心に、作品が生みだされた時代背景——歴史、思想、社会などを学びながら、その時代に生きた人間について考える。

人文社会自主研究ゼミ

尾崎 彰宏 先生

日時：第4火曜日
12:30～14:00

初回：11月26日（火）
定員：15名

2021年後期からはじめたゼミである。受講生が勉強していること、考えていることを発表してもらい、それに基づいて参加者を交えて議論するものである。学習は、受動的に学ぶだけでは、深まっていけない。自分で発見した問題を検討し、人に伝える努力をしてはじめて、どういう点が自分ではわかっていないかが理解され、新たな課題がみえてくる。このゼミは、発表希望者がいる場合に開講する。

事例で考える民法・消費者法～製造物責任法と消費生活～

栗原 由紀子 先生

日時：第1・3金曜日
14:00～15:30

初回：11月15日（金）
定員：25名

こちらで用意した裁判例を素材に、法律上の問題意識を喚起し、これに関する民法や消費者の法理や制度について解説します。当該事例の判決要旨を読みながら問題解決の筋道を講義のなかで一緒に考え、明らかにしていきましょう。今期は、食品や家庭用品の欠陥等により消費者の安全が脅かされた事件を契機に、消費者の安全と事業者の責任、そして、製造物責任法（PL法）について考えていきたいと思います。

【学生が用意するもの等】

学習用六法（ポケット六法、デイリー六法、法学六法など）。民法や消費者、製造物責任法に関する教科書・入門書（教科書や入門書等の紹介は初回に行います）。

宮沢賢治の童話を読む

佐藤 伸宏 先生

日時：第1・3木曜日
10:30～12:00

初回：11月7日（木）
定員：20名

このゼミでは、宮沢賢治の童話を取り上げて、読み進めていきます。それらの作品は、子供のために書かれた童話ですが、さまざまな読み方を可能にする、豊かな奥行きを備えています。そのような賢治の童話について、細部の表現に留意しながら本文を丁寧に読むことをとおして、また自由な意見交換を行うなかで、その魅力や面白さを確かめてゆくことにします。本年度第2学期のゼミでは、使用テキストに収録されている「銀河鉄道の夜」を初めに読むことにする予定です。

【学生が用意するもの等】

テキストは宮沢賢治『新編 銀河鉄道の夜』（新潮文庫）を使用します。各自で入手して下さい。

災害の記録を読む ～明治22年水害と仙台・宮城～

川内 淳史 先生

日時：第1・3木曜日
15:00～16:30

初回：11月7日（木）
定員：20名

このゼミでは、身近な地域の歴史資料を読み解きながら、当時の社会について学んでいきたいと思います。

第1学期に引き続いて、明治22年（1889）9月に宮城県下を襲った水害の記録を読んでいます。当時書かれた記録の写真版（コピー）を受講者と一緒に読み解き、当時の被害の様相や、災害に遭遇した人々について学んでいきたいと思います。

ゼミで読むテキストについては、こちらで用意いたします。比較的読みやすいテキストを用いますので、古文書解読の経験の無い方も歓迎です。また、前学期の続きを読んでいます。初回授業ではこれまでのおさらいをしますので、今学期初めて参加される方も大歓迎です。

【学生が用意するもの等】

授業に使用するテキストは、こちらで用意します。参考文献としては以下のテキストがあります。（当日用意する必要はありません）

天野真志『記憶が歴史になるとき—遠藤家文書と歴史資料保全』蕃山房、2016年

次頁に続きます

人間とは何か		戸島 貴代志 先生
日時：第2・4水曜日 10:00～11:30 初回：11月13日(水) 定員：25名	ヴィクトール・フランクルの著作『人間とは何か』を用いて生きることの意味について考えます。授業は教員の説明を中心に進めます（参加者のみなさんには哲学用語の知識はほとんど必要ありません）。世界は見えるとおりに存在しているのか、そうでないとしたら私たちはどのような世界に生きているのか、そして生きるとはどういうことか、私たちはなぜ何のために生きているのか等、総じて「人間とは何か」ということについて、みずから考える姿勢を身につけることを目指します。 【学生が用意するもの等】 授業で用いるテキストは授業時に配布します。	
海の生物を見る触れる		片山 知史 先生
日時：第3金曜日 10:30～12:00 初回：11月15日(金) 定員：25名	魚などの海の生物は、どのような体の仕組みをしているのか。また体の組織の中に、どのような情報が隠されているのか。実際の海洋生物の硬組織や標本を観察しながら、新しい情報を得たり、発見をしてみましょう。 1 耳石の形と年輪 2 貝殻の構造と年輪 3 シラス・チリメンと混ざりもの 4 稚魚の透明標本 5 映像を通じて	
「地球と宇宙のサイエンス」		小原 隆博 先生
日時：第2・4水曜日 14:00～15:30 初回：11月13日(水) 定員：15名	1学期に引き続き、「地球と宇宙のサイエンス」ゼミを開講します。受講生は、「地球」や「宇宙」から不思議と思うテーマを選び、自ら調べて、その結果を発表し、ゼミ参加者全員で議論しながら、共通の理解へと繋げていきます。 ゼミ生からの発表が無い場合、担当教員から宇宙に関する話題を提供します。皆様の参加をお待ちしています。新規の方、大歓迎です。 【学生が用意するもの等】 ゼミ生が興味あるテーマについて調べる時、参考になる資料等、担当教員からも提供します。 ゼミ生のテーマ選びの参考文献として、例えば、以下の図録があります。 ★地学図録（視覚でとらえるフォトサイエンス）数研出版、初版 2016年、毎年改定	

課外授業ゼミを申し込まれる皆様へ

- ・課外授業ゼミは単位にはなりませんのでご注意ください。
- ・授業形態は講義室での対面形式です。
- ・受講当日は、宮城学習センター2階出入口に掲示している「本日の部屋割り」で教室をご確認いただき、そのまま教室へ入室してください。
- ・受付期間より前の期間に連絡をいただいても、受付いたしません。必ず受付期間内にお申込みください。
- ・単位認定試験期間中(1月19日(日)～1月27日(月))のゼミは、休講となります。